参考資料１

港区及び名古屋競馬場周辺の現状

（１）総括図

計画地の用途地域図および敷地概要を以下に示す。

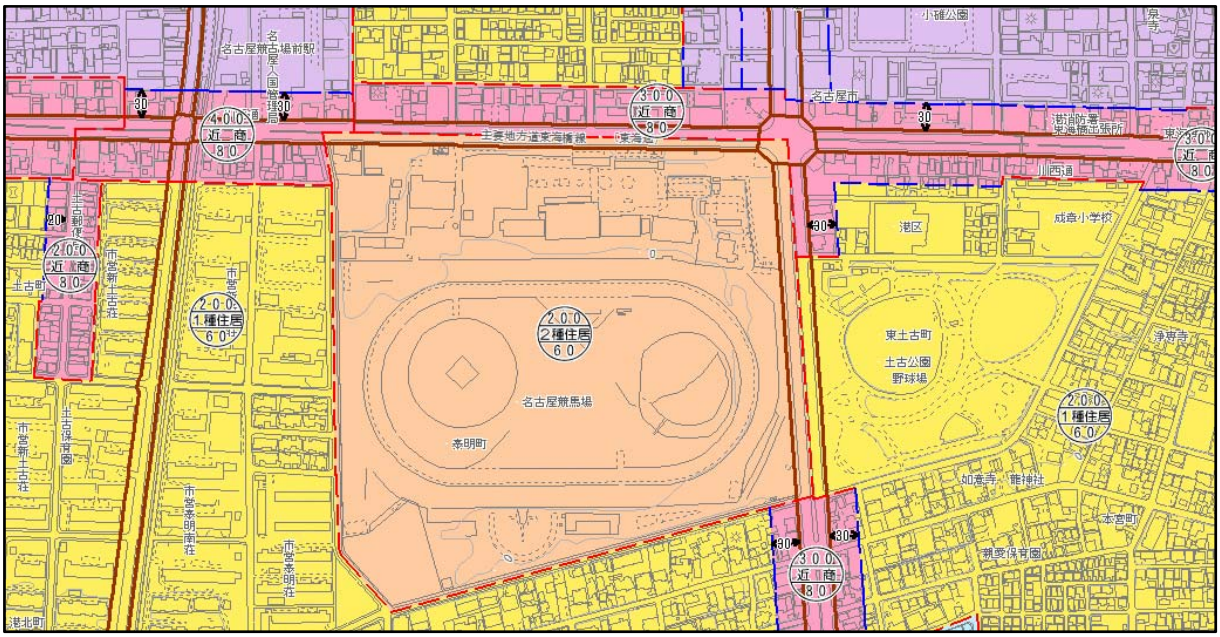

図１　用途地域図

表１　敷地概要

所在地	名古屋市港区泰明町 1-1（名古屋競馬場）	
敷地面積	約 20.7ha	
都市計画	用途地域	第二種住居地域
	容積率	200％
	建蔽率	60％
	その他	準防火地域
		31ｍ高度地区
		緑化地域
		臨海部防火地区（第３種区域）※
		都市機能誘導区域

※名古屋市臨海防災区域建築条例にて指定されているもので、第３種区域では、１階床高を名古屋港基準面Ｎ・Ｐ(+)１ｍ以上とすることが規定されている。

（２）ハザードマップ

１）津波

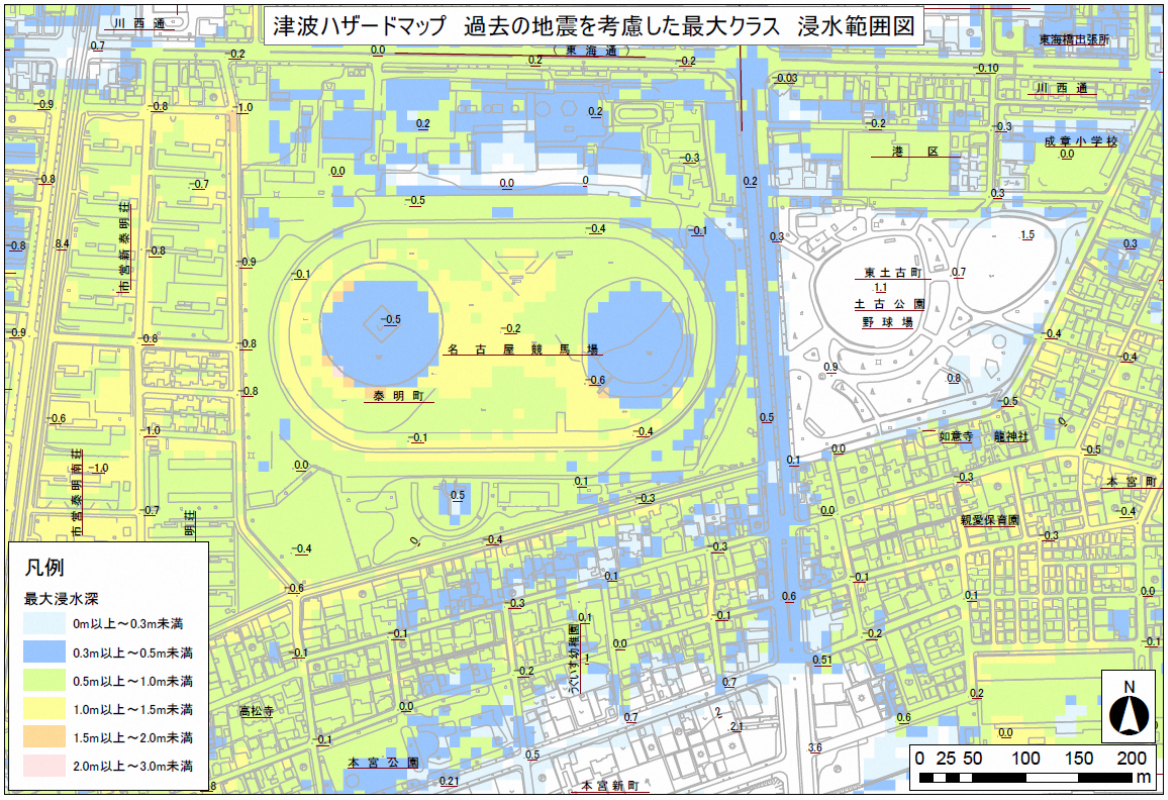

図２　過去の地震を考慮した最大クラス　津波浸水範囲図

出典：「あなたの街の地震ハザードマップ」GIS データより作成

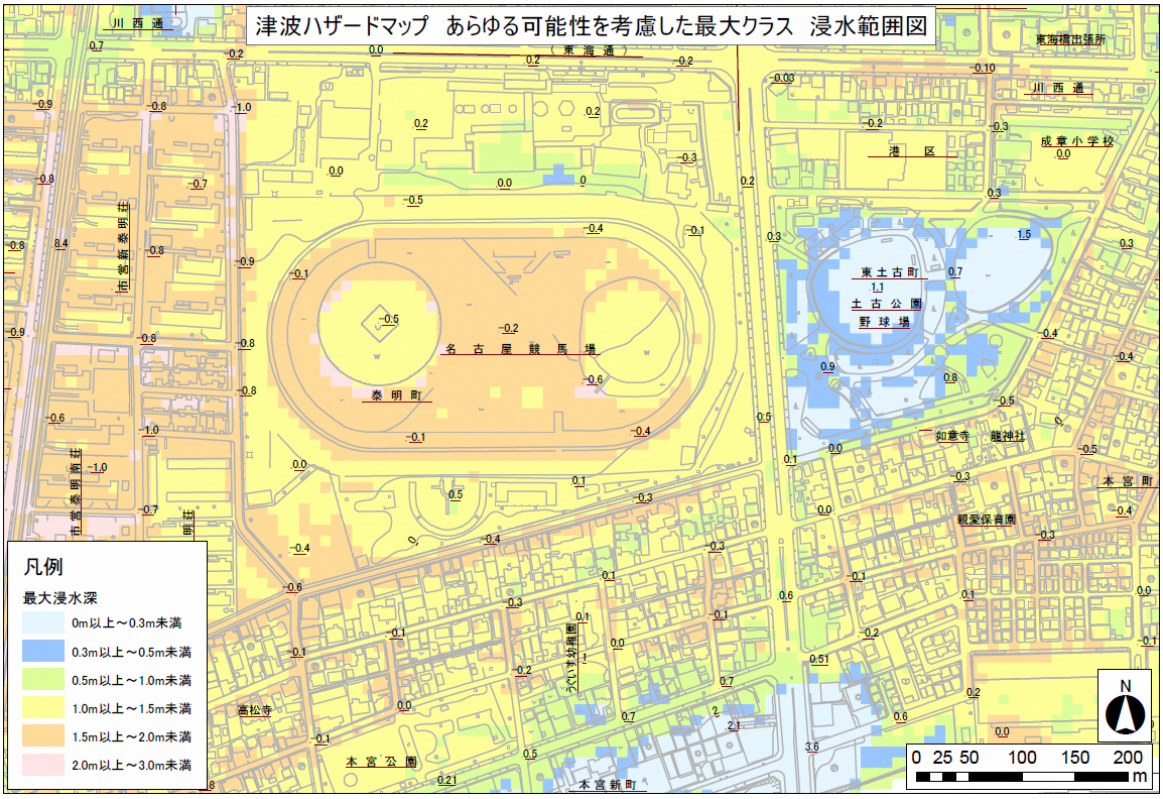

図３　あらゆる可能性を考慮した最大クラス　津波浸水範囲図

出典：「あなたの街の地震ハザードマップ」GIS データより作成

２）庄内川・矢田川が氾濫した場合

①庄内川が氾濫した場合

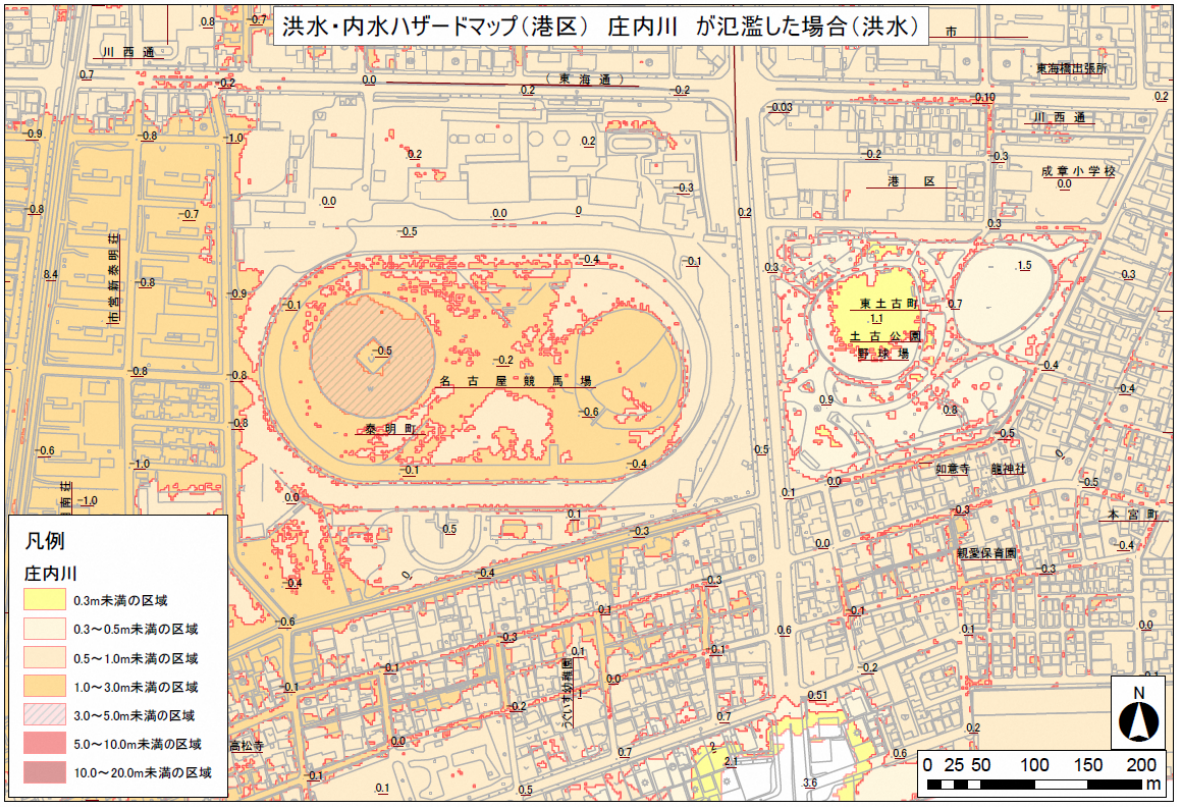

図４　庄内川が氾濫した場合の浸水範囲図

出典：「洪水・内水ハザードマップ」GIS データより作成

②矢田川が氾濫した場合

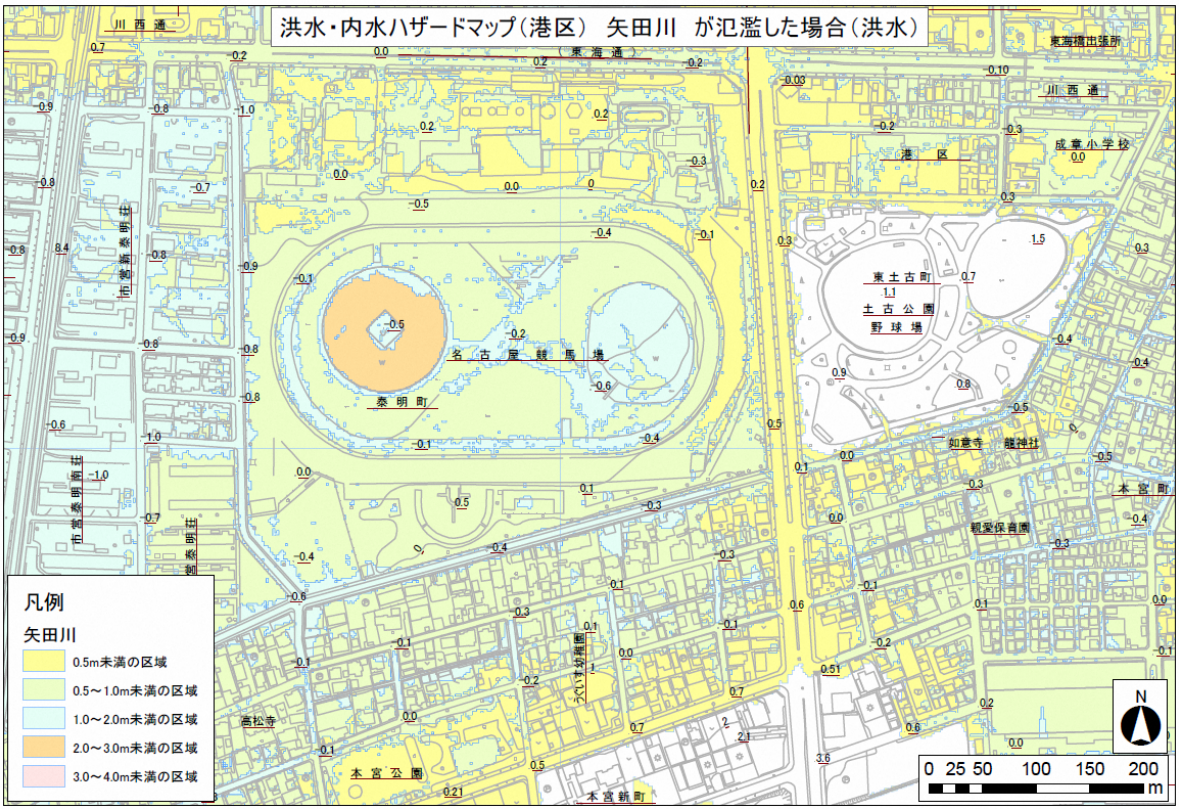

図５　矢田川が氾濫した場合の浸水範囲図

出典：「洪水・内水ハザードマップ」GIS データより作成

３）高潮

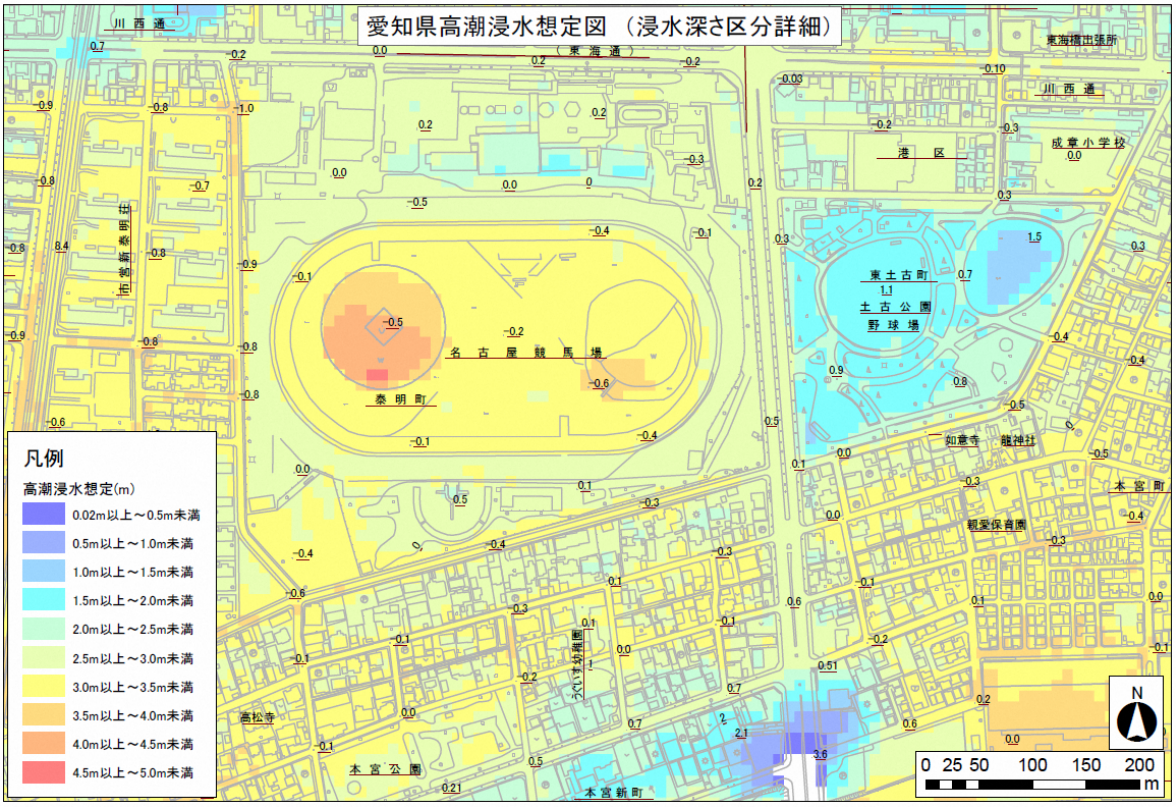

図６　高潮による浸水想定図（浸水深さ区分詳細）

出典：「愛知県高潮浸水想定」GIS データより作成

４）大雨による内水はん濫

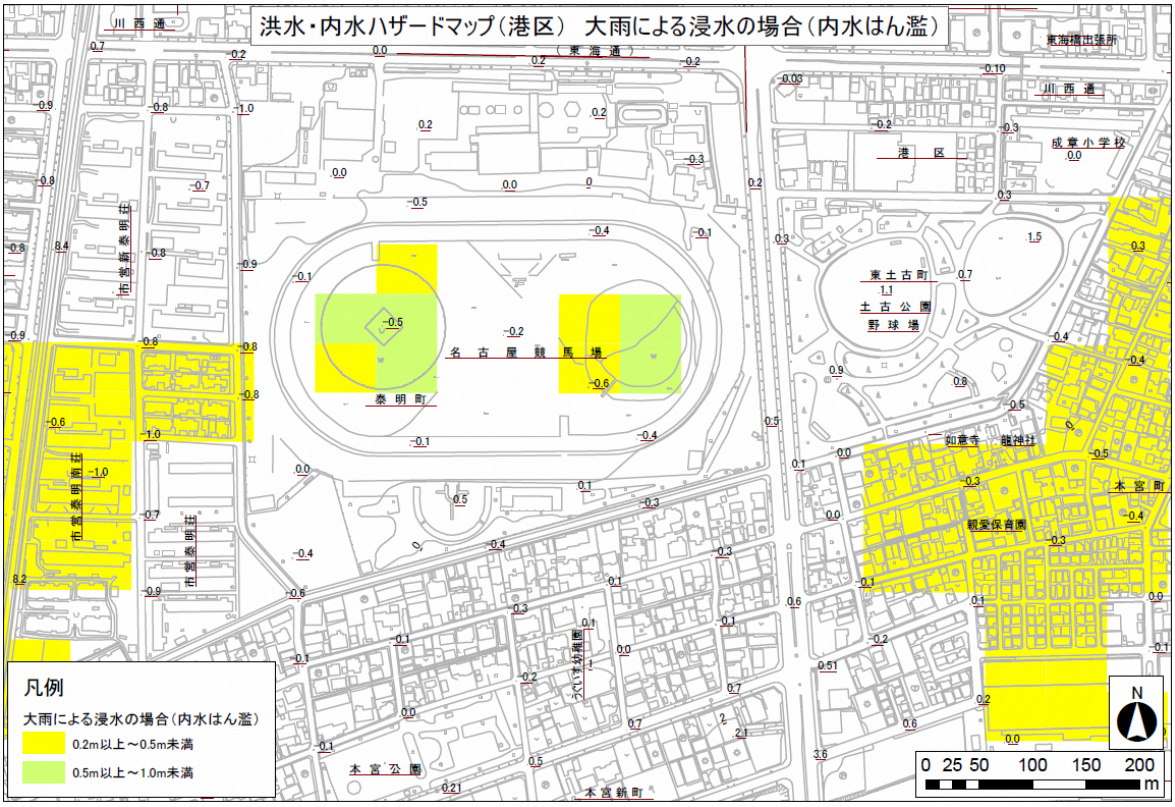

図７　内水氾濫による浸水想定図

出典：「洪水・内水ハザードマップ」GIS データより作成

5）液状化

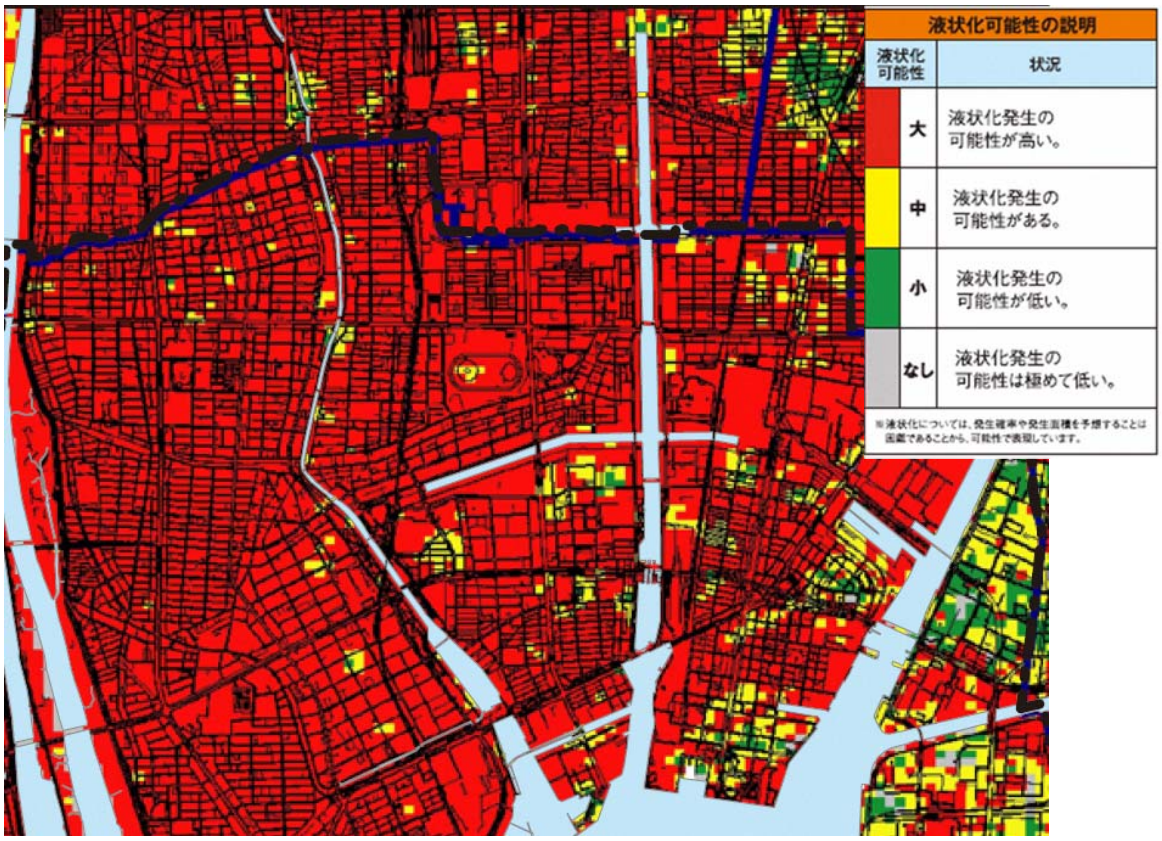

図８　過去の地震を考慮した最大クラスの液状化ハザードマップ

出典：あなたの街の地震ハザードマップ　港区

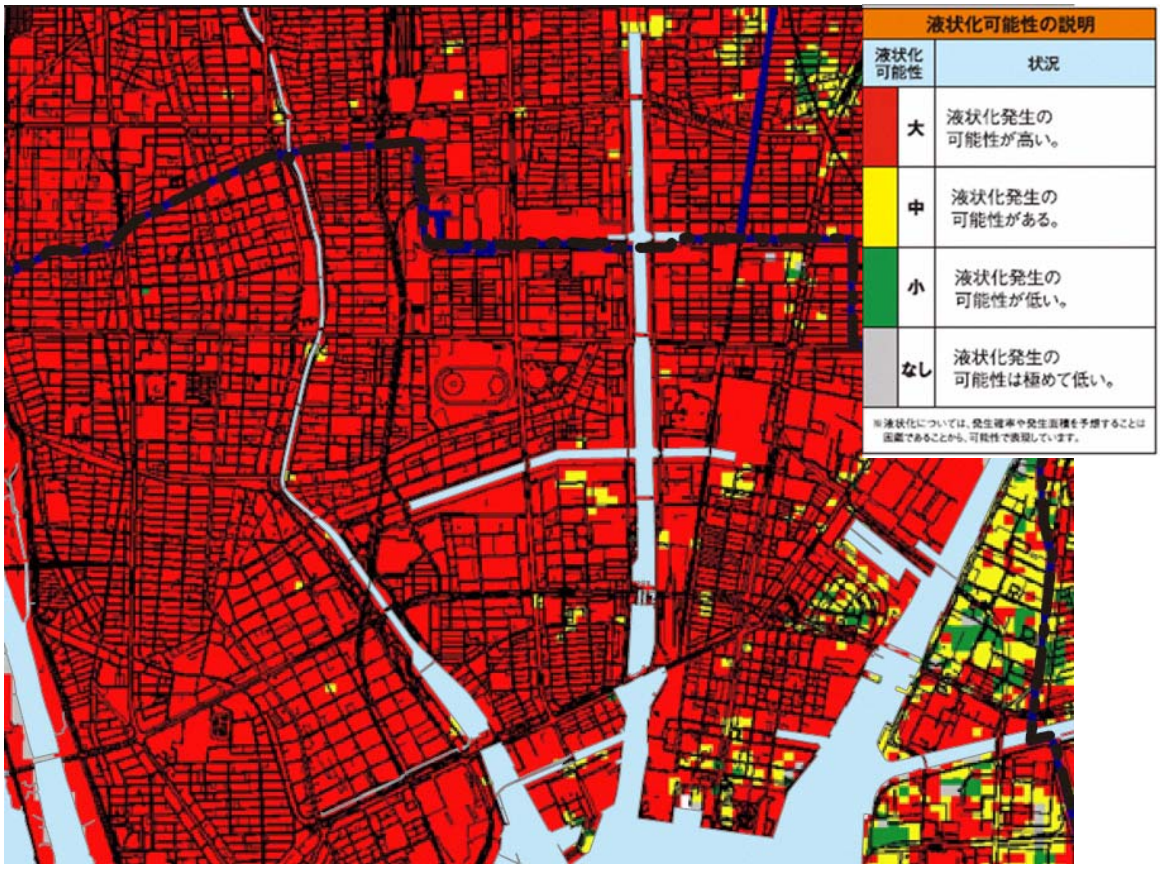

図９　あらゆる可能性を考慮した最大クラスの液状化ハザードマップ

出典：あなたの街の地震ハザードマップ　港区

（３）交通

１）道路交通量

敷地東側　名古屋市道環状線

敷地北側　名古屋市道東海橋線（東海通）

環状線及び東海橋線（東海通）の交通量（平成 22 年度道路交通センサス「一般交通量調査」）は以下のとおりである。

○環状線

12 時間交通量 26,977 台（平日）（大型車 5,663 台　小型車 21,314 台）

24 時間交通量 36,149 台（平日）（大型車 6,406 台　小型車 29,743 台）

○東海橋線（東海通）

12 時間交通量 25,731 台（平日）（大型車 3,845 台　小型車 21,886 台）

24 時間交通量 34,480 台（平日）（大型車 4,554 台　小型車 29,926 台）

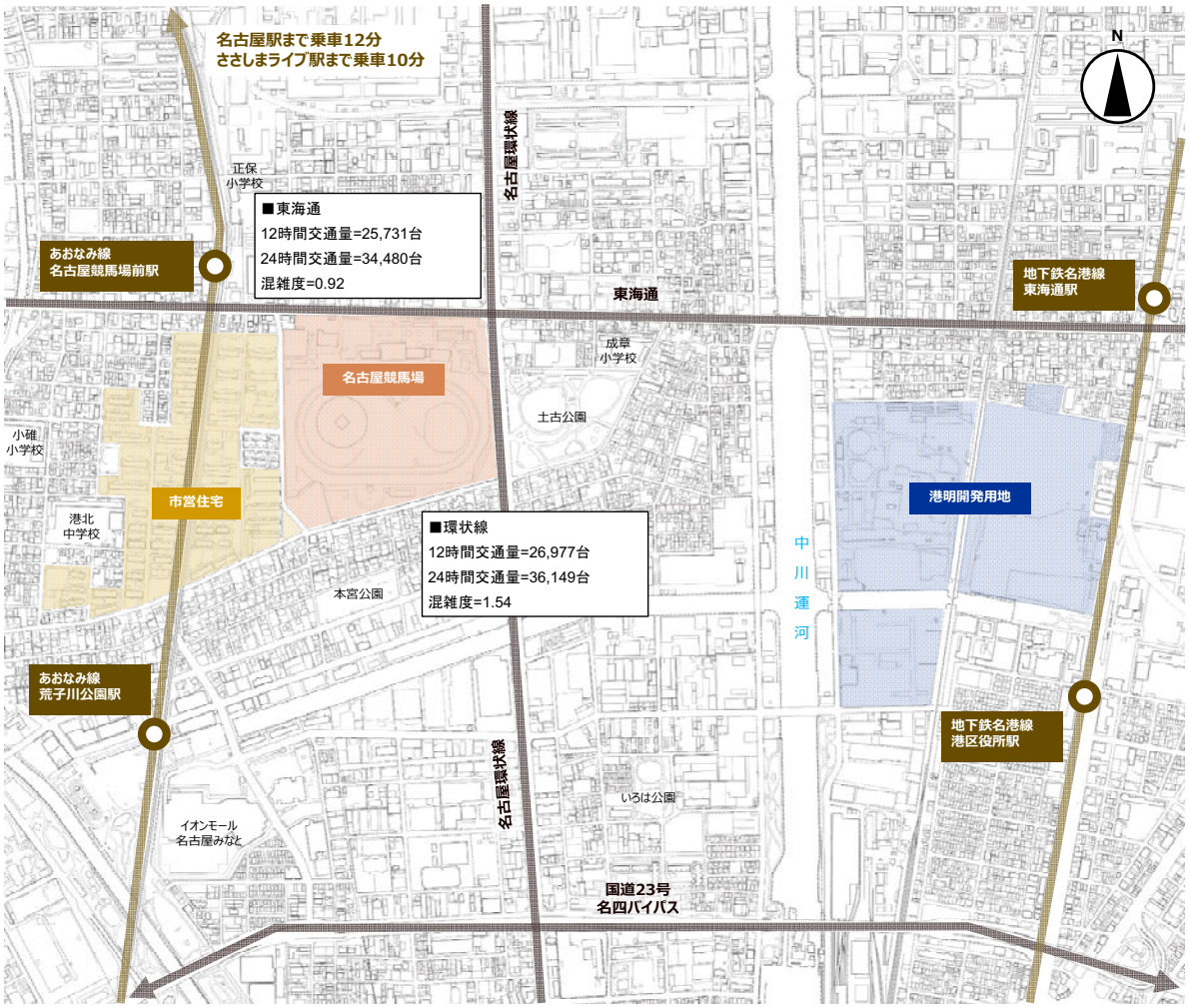

図 10　周辺道路の交通量の現状（H22）

２）あおなみ線乗降客

○鉄道

予定地直近には、あおなみ線名古屋競馬場前駅が位置している。同駅の乗車人員は年間 1,140 千人（日換算 3,124 千人）である。

運行本数は朝夕で 10 分/本、日中は 15 分/本の間隔となっている。

表 2　西名古屋港線（あおなみ線）市内各駅乗車人員の推移

（人）

年度	総数	名古屋	ささしまライブ	小本	荒子	南荒子	中島	名古屋競馬場前	荒子川公園	稲永	野跡	金城ふ頭
平成16年度	3,237,266	1,406,181	119,622	88,288	168,766	94,969	208,624	247,449	328,375	205,263	93,245	276,484
17	8,789,091	3,856,526	882,339	239,760	403,849	242,401	594,347	667,459	744,955	558,370	210,435	388,650
18	8,317,474	3,622,859	194,865	279,385	453,130	286,215	664,350	744,420	844,790	622,785	234,825	369,850
19	9,266,532	4,017,040	195,160	309,664	495,908	307,702	756,105	824,749	925,793	686,229	249,334	498,848
20	9,620,289	4,199,151	170,932	315,349	521,416	325,276	790,580	955,634	948,350	716,824	260,634	416,143
21	9,863,747	4,321,323	166,079	334,580	545,640	340,412	799,806	945,641	961,066	745,259	285,640	418,301
22	10,244,154	4,489,432	151,481	361,523	575,737	372,878	813,690	975,853	966,110	767,638	298,968	470,844
23	11,016,439	4,801,581	169,918	379,470	592,266	400,855	822,219	1,017,105	962,826	788,606	305,662	775,931
24	11,283,338	4,882,579	270,710	386,098	611,234	432,047	846,133	1,037,106	1,034,000	824,505	313,133	645,793
25	11,705,647	5,021,865	292,040	407,343	649,004	449,174	877,093	1,054,561	1,067,190	839,305	335,365	712,707
26	12,171,042	5,218,867	314,054	433,900	688,869	456,967	915,666	1,114,314	1,093,719	853,347	340,216	741,123
27	12,689,459	5,423,023	390,761	446,431	721,147	473,779	943,269	1,117,794	1,131,663	877,663	348,461	815,468
28	13,121,390	5,592,869	439,686	458,455	731,492	499,273	973,408	1,140,410	1,105,443	897,652	366,294	916,408

注：平成 16 年 10 月 6 日より運行開始。　　出典：名古屋市「駅別乗車人員の推移」

３）市バス

市バスのバス停は、東海通沿いに「名古屋競馬場前駅」、「競馬場正面」、「競馬場」の３か所がある。

幹線バスとして、幹神宮１が運行しているほか、「名古屋競馬場前駅」、「競馬場正面」は一般系統として、２路線、「競馬場」は４路線が運行している。

幹線バスの運行本数は、朝夕で 5~10 分/本、日中は 15 分/本の間隔となっている。

一般系統のバス運行本数は、朝夕で 10~30 分/本、日中は 20~60 分/本の間隔となっている。

図 11　バス路線網図

出典：名古屋　地下鉄・市バス路線図

（４）市場動向等

１）人口動態

名古屋市の総人口は、増加傾向にあり、平成 29（2017）年 10 月 1 日現在で 231 万 4,125 人である。自然増減、社会増減について、平成 25 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いているものの、自然減を上回る他地域からの社会増により、常住人口は増加傾向となっている。

今後の見通しとして、昭和 22（1947）年から 24（1949）年に生まれたいわゆる「団塊の世代」が平成 34（2022）年以降に 75 歳以上の後期高齢者になるなど、高齢化が一段と進行し、死亡数の増加が予測されている。このため、自然減は今後拡大していくことが予測される。

一方で、社会増減については、経済状況などにも左右されるが、他地域からの転入超過がしばらくは続くことが想定されている。

このような状況のもとで、今度の常住人口は、短期的には自然減を上回る社会増により増加が続くものの、将来的には自然減が社会増を上回り、平成 34（2022）年頃から減少に転じると推計されている。

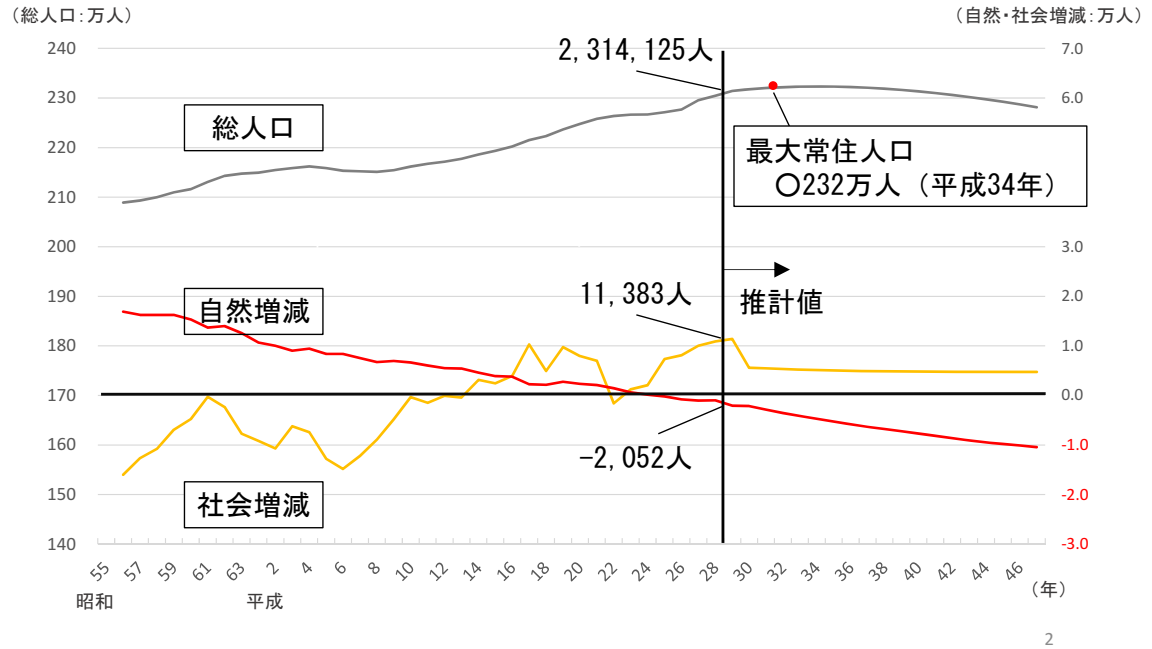

図 12　名古屋市における人口の推移と推計

出典：実績値：「統計なごや web 版　愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」より作成

推計値：名古屋市推計（平成 29（2017）年 10 月 1 日時点）

人口構造については、親となる世代の人口の減少などを背景に少子化の傾向が続くことや平均寿命の延伸などによる高齢者人口の一層の増加が見込まれるとともに、生産年齢人口（15~64 歳人口）が減少すると推計されている。

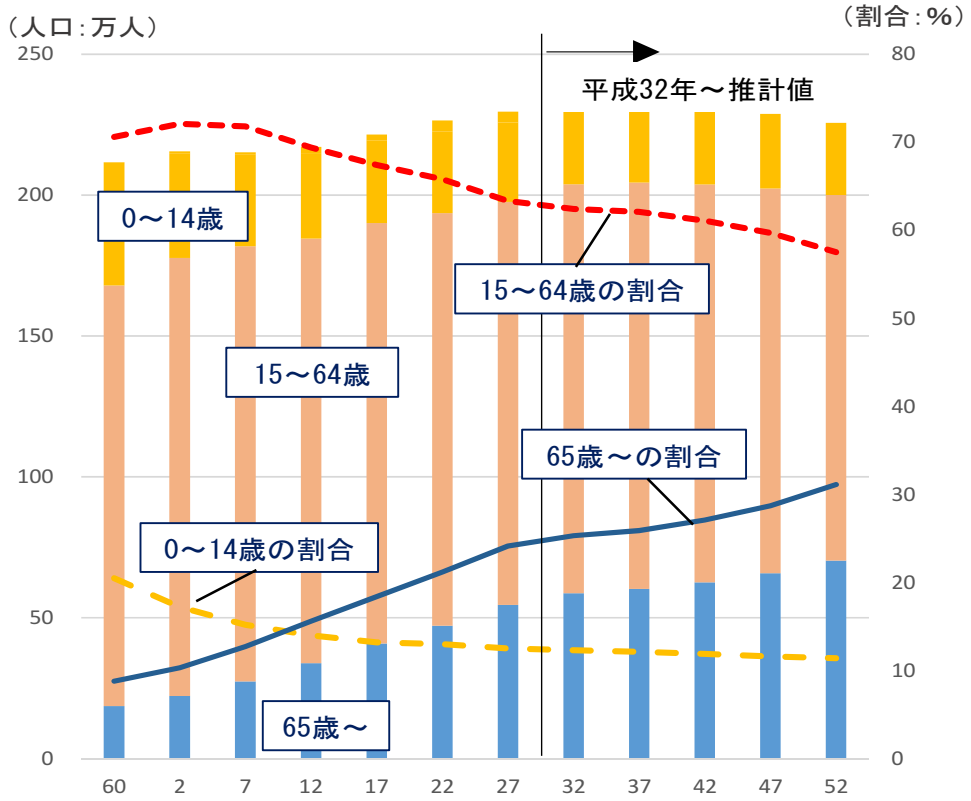

図 13　人口構成の割合の推移と見通し（中位推計）

出典：実績値：「統計なごや web 版　愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」より作成
　　推計値：名古屋市推計（平成 29（2017）年 10 月 1 日時点）

港区の人口の推移は、名古屋市の人口が増加する中、近年減少傾向にあり、平成 29(2017) 年 10 月 1 日現在で 144,847 人となっている。また、男女の比率について、名古屋市全体で女性が男性に比べ多いのに対し、港区は男性が多くなっている。

表 3　人口・世帯数（2007 年、2017 年（各年 10 月 1 日現在））

	名古屋市		港区		中川区	
	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年
人口	2,236,561	2,314,125	151,811	144,847	218,615	220,551
世帯数	985,322	1,088,175	60,282	62,230	88,918	98,036
性比 (男性人口/女性人口×100)	98.8	97.6	101.2	100.8	99.0	98.1

出典：「統計なごや web 版　愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」

港区の人口動態は、自然増減については、名古屋市同様に出生数が減少し、死亡数が増加しており、自然減の状態になっている。

また、社会増減について、名古屋市全体で社会増となっている中、港区は近年社会減の状態となっており、年少人口（0~14 歳）及び生産年齢人口（15~64 歳）が減少している。

港区の外国人人口は、名古屋市同様に増加傾向にある。また、名古屋市平均よりも外国人人口率と男性の比率が高い。

表 4　人口の自然増減（2007 年、2017 年（各年 10 月 1 日現在））

	名古屋市		港区		中川区	
	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年
出生数	20,357	19,716	1,540	1,003	2,255	1,925
死亡数	17,618	21,768	1,194	1,544	1,727	2,168
自然増減	2,739	-2,052	346	-541	528	-243

出典：「統計なごや web 版　愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」

表 5　人口の社会増減（2007 年、2017 年（各年 10 月 1 日現在））

		名古屋市		港区		中川区	
		2007 年	2017 年	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年
転入		158,781	159,488	7,799	7,084	12,438	12,541
転出		148,107	148,105	8,255	7,756	11,347	12,008
社会増減		10,674	11,383	-456	-672	1,091	533
転入	0~14 歳	18,846	16,349	942	764	1,376	1,113
	15~64 歳	132,868	134,430	6,481	5,802	10,466	10,786
	65 歳以上	7,051	8,707	374	518	594	642
転出	0~14 歳	19,458	17,466	1,149	881	1,631	1,462
	15~64 歳	121,440	122,315	6,700	6,402	9,196	9,850
	65 歳以上	7,186	8,322	403	472	520	696
社会増減	0~14 歳	-612	-1,117	-207	-117	-255	-349
	15~64 歳	11,428	12,115	-219	-600	1,270	936
	65 歳以上	-135	385	-29	46	74	-54

出典：「統計なごや web 版　愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）」

表 6　外国人人口（2007 年、2017 年（各年 10 月 1 日現在））

	名古屋市		港区		中川区	
	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年	2007 年	2017 年
外国人人口	63,420	77,181	7,217	8,097	5,192	6,175
外国人人口率	2.8%	3.3%	4.6%	5.6%	2.4%	2.8%
外国人人口性比(男性/女性×100)	88.1	91.3	96.5	99.1	85.6	91.3

出典：「統計なごや web 版　外国人公簿人口(全市・区別)」

２）住宅着工動向

過去（2008 年から 2017 年）の住宅着工戸数は、名古屋市全体では年間約 22,000 戸、中川区・港区の合計は年間約 2,900 戸である。

中川区・港区の分譲マンション価格（坪単価）は、名古屋市全体平均の 65～75％程度である。

表 7　利用関係・建て方別住宅着工戸数の過去 10 年（2008~2017 年）平均

	名古屋市		港区		中川区	
[戸]	持家	借家	持家	借家	持家	借家
共同住宅・長屋建	3,858	10,911	90	482	62	1,095
戸建	7,047	345	363	31	737	43

出典：住宅着工統計より作成

表 8　分譲マンション価格等

	名古屋市 （2016 年）	中川区 （2015 年）	港区 （2015 年）
平均販売価格	4,626 万円	2,982 万円	3,000 万円
平均専有面積	78.4 ㎡	70.1 ㎡	77.6 ㎡
平均坪単価	195.1 万円	140.6 万円	127.7 万円

出典：第 20 回アジア競技大会選手村後利用基本構想策定業務報告書　平成 30 年 3 月
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

３）商業

港区の商業は、事業者数 966 事業所、従業者数 9,870 人、年間販売額 670,608 百万円となっている。

予定地西側にイオンモール名古屋みなと店（店舗面積 48,650 ㎡）、東側にららぽーと名古屋みなとアクルス（店舗面積 59,500 ㎡）が立地している。

名古屋駅、ささしまライブ駅周辺では、ビジネス・商業機能の集積が高っており、一方、金城ふ頭駅周辺では、平成 29 年にレゴランド、メーカーズピアがオープンするなど集客機能の集積が高まっている。またポートメッセなごや第 1 展示館の移転拡張整備（現第 1 展示館　展示面積 13,870 から 20,000 ㎡に拡大、総面積約 40,000 ㎡）が進められており、平成 33 年（2021 年）秋に開設予定となっている。

表 9　卸売・小売業の区別の'事業所数・従業者数・年間商品販売額等（平成 26 年）

（単位　金額百万円、面積㎡）

地　　区	総数				卸売業				小売業			
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
千　種　区	1,300	10,964	719,278	146,927	414	3,606	569,066	－	886	7,358	150,211	146,927
東　　区	1,169	14,769	2,554,261	104,465	627	9,325	2,367,456	－	542	5,444	186,805	104,465
北　　区	1,246	10,549	538,158	112,309	501	4,134	423,017	－	745	6,415	115,140	112,309
西　　区	1,840	19,668	1,720,485	140,104	881	12,214	1,546,082	－	959	7,454	174,403	140,104
中　村　区	2,515	27,378	5,643,397	223,273	1,198	15,841	5,303,656	－	1,317	11,537	339,741	223,273
中　　区	3,883	45,092	5,957,101	382,485	1,946	29,948	5,339,381	－	1,937	15,144	617,721	382,485
昭　和　区	1,000	9,467	488,760	89,219	385	4,518	356,901	－	615	4,949	131,859	89,219
瑞　穂　区	844	7,464	800,802	57,644	280	3,884	732,429	－	564	3,580	68,373	57,644
熱　田　区	1,050	13,289	1,123,326	93,248	561	8,464	967,420	－	489	4,825	155,906	93,248
中　川　区	1,623	15,842	911,282	168,046	667	7,164	708,690	－	956	8,678	202,592	168,046
港　　区	966	9,870	670,608	210,548	309	3,257	535,450	－	657	6,613	135,157	210,548
南　　区	1,256	10,314	428,194	130,493	393	3,853	299,648	－	863	6,461	128,545	130,493
守　山　区	859	7,873	287,704	134,284	297	2,578	175,411	－	562	5,295	112,294	134,284
緑　　区	1,244	13,189	446,786	276,092	274	2,585	226,810	－	970	10,604	219,975	276,092
名　東　区	1,097	10,476	829,634	107,177	476	5,031	713,706	－	621	5,445	115,927	107,177
天　白　区	885	7,373	309,127	69,914	281	2,685	207,237	－	604	4,688	101,890	69,914
合計	22,777	233,577	23,428,903	2,446,228	9,490	119,087	20,472,360	－	13,287	114,490	2,956,539	2,446,228

出典：平成 29 年版名古屋市統計年鑑（平成 26 年商業統計調査）

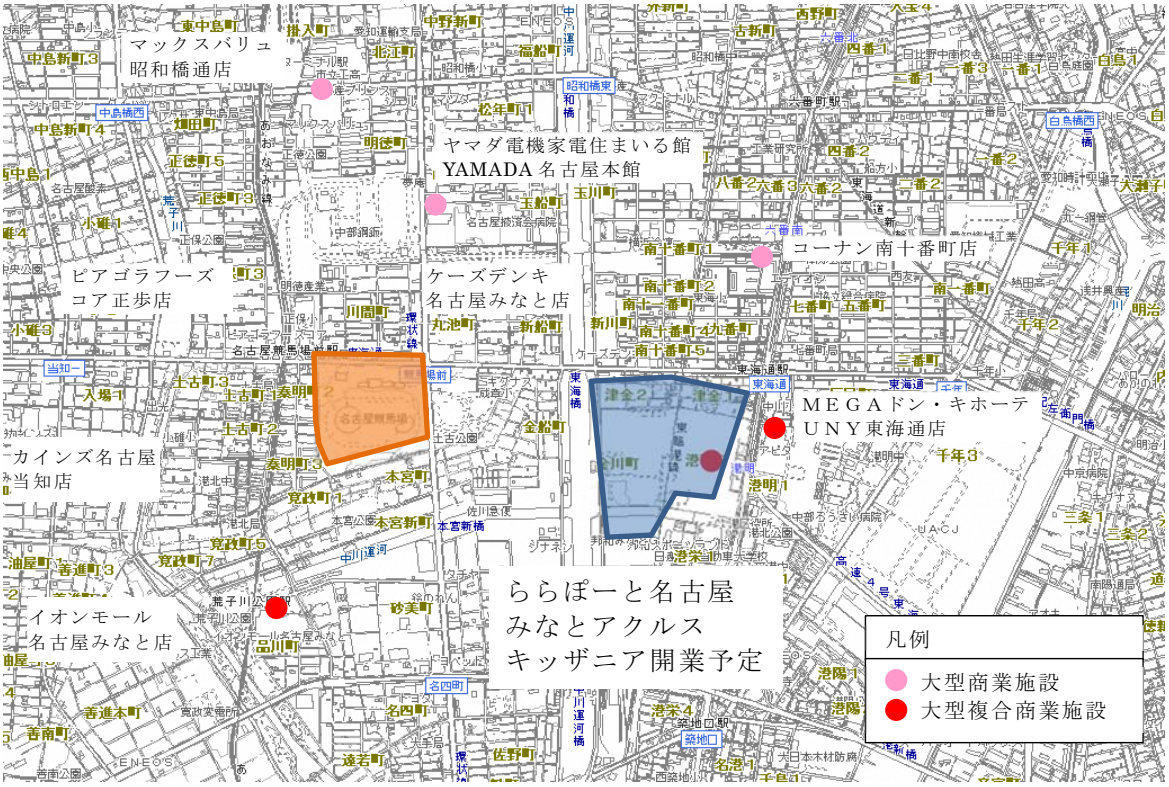

図 15　計画地周辺の大型商業施設分布図

４）工業

港区は、事業者数 531 事業所、従業者数 21,841 人、製造業出荷額 94,751 千万円となっており、市内でも事業所数、従業員数が多く、ものづくりの集積度が高い地域である。

表 10　名古屋市の各地区における事業所数、従業員数、製造品出荷額等(平成 26 年)

（単位　金額万円）

地区別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
千種区	46	509	670,629
東区	85	6,212	34,522,550
北区	263	4,137	13,857,126
西区	464	8,441	19,690,302
中村区	175	3,854	8,576,501
中区	121	2,228	3,530,303
昭和区	89	1,432	2,906,164
瑞穂区	116	6,577	19,207,923
熱田区	166	4,567	15,466,382
中川区	597	9,165	25,755,693
港区	531	21,841	94,751,015
南区	475	11,086	35,401,777
守山区	345	7,206	34,291,550
緑区	435	8,851	19,268,729
名東区	18	223	303,824
天白区	186	3,807	26,737,606
合計	4,112	100,136	354,938,074

出典：平成 29 年版名古屋市統計年鑑（平成 26 年工業統計調査）

5）教育

予定地の小学校区は小碓小学校（児童数 461 人）であり、東側は成章小学校区（同校児童数 256 人）、北側は正保小学校区（同校児童数 324 人）と隣接している。

また小碓小学校区、正保小学校区の中学校区は、港北中学校（生徒数 394 人）である。

※児童数、生徒数は名古屋市「教育統計調査（平成 29 年 5 月 1 日現在）」による。

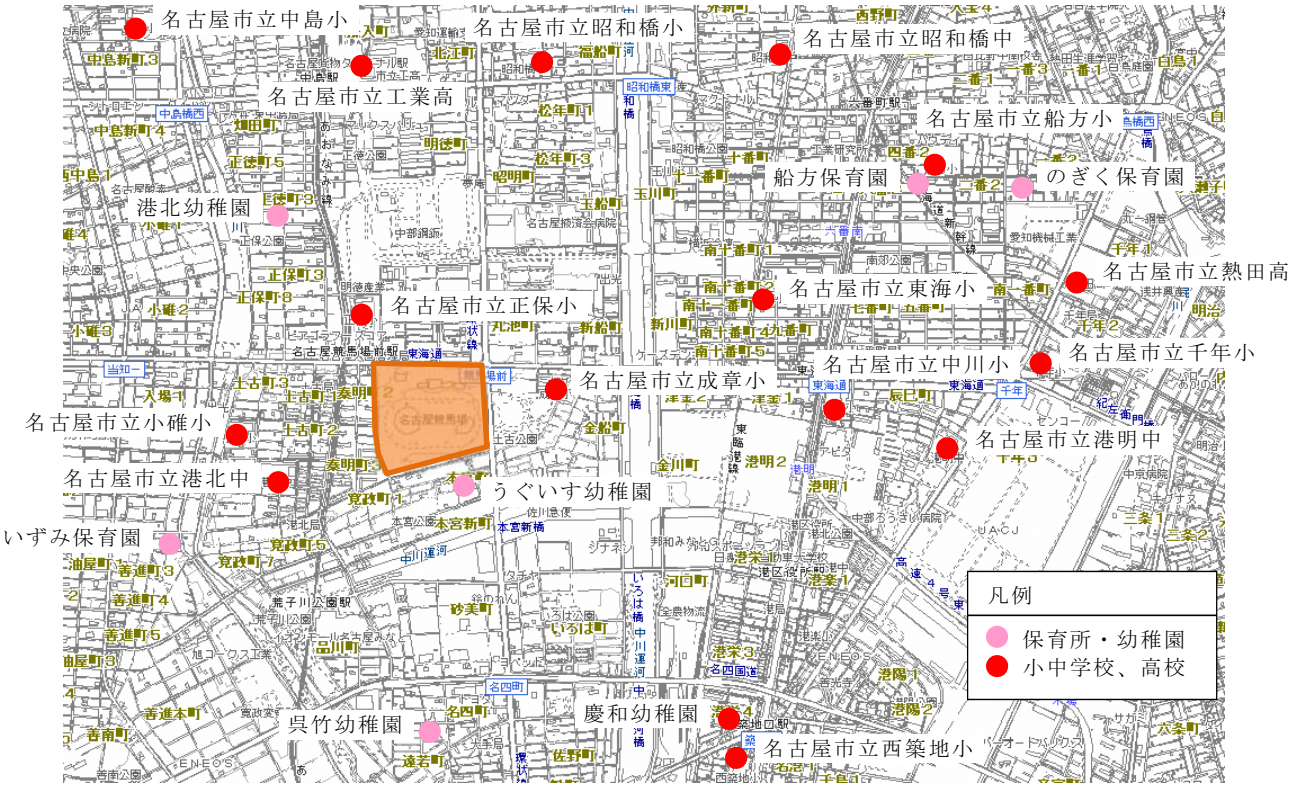

図 16　計画地周辺の教育施設分布図

6）医療

病院施設は、港区５施設、中川区 13 施設となっており、計画地近隣には、２施設が立地する。

名古屋掖済会病院、中部ろうさい病院、協立総合病院、東洋病院の４施設となっている。

表 11　病院数（平成 28 年）

	病院数					病床数					
	総数	国立	地方公共団体	法人	その他	総数	精神	結核	感染症	一般	療養
名古屋市	**129**	**5**	**8**	**95**	**21**	**25 350**	**4 602**	**141**	**12**	**16 423**	**4 172**
中川区	13	－	－	13	－	2 775	711	－	－	1 462	602
港区	5	1	－	4	－	1 126	－	－	－	856	270

出典：平成 29 年版名古屋市統計年鑑

図 17　病院分布図

7）福祉

近隣には老人福祉施設として、港福祉会館がある程度で、近隣には分布していない。

表 12　福祉施設一覧

中分類	小分類	施設名称	行政区
老人福祉施設	福祉会館	港福祉会館	港区
		熱田福祉会館	熱田区
	老人ホーム	きよすみ荘	港区
	その他	老人いこいの家	中川区
社会福祉施設	保護施設等	旧船見寮	港区
		熱田荘	熱田区

出典：名古屋市公共施設白書（第２版）平成 29 年 8 月

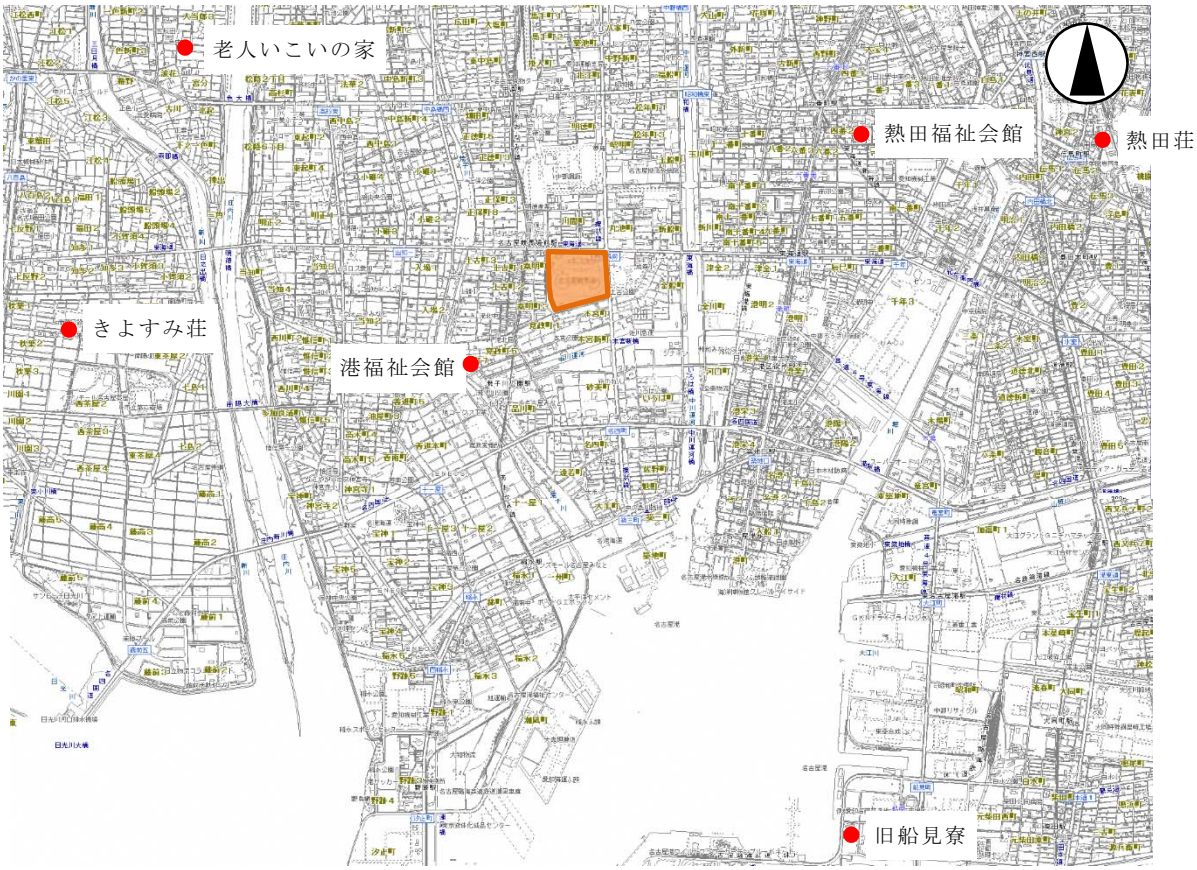

図 18　福祉施設分布図（公共）

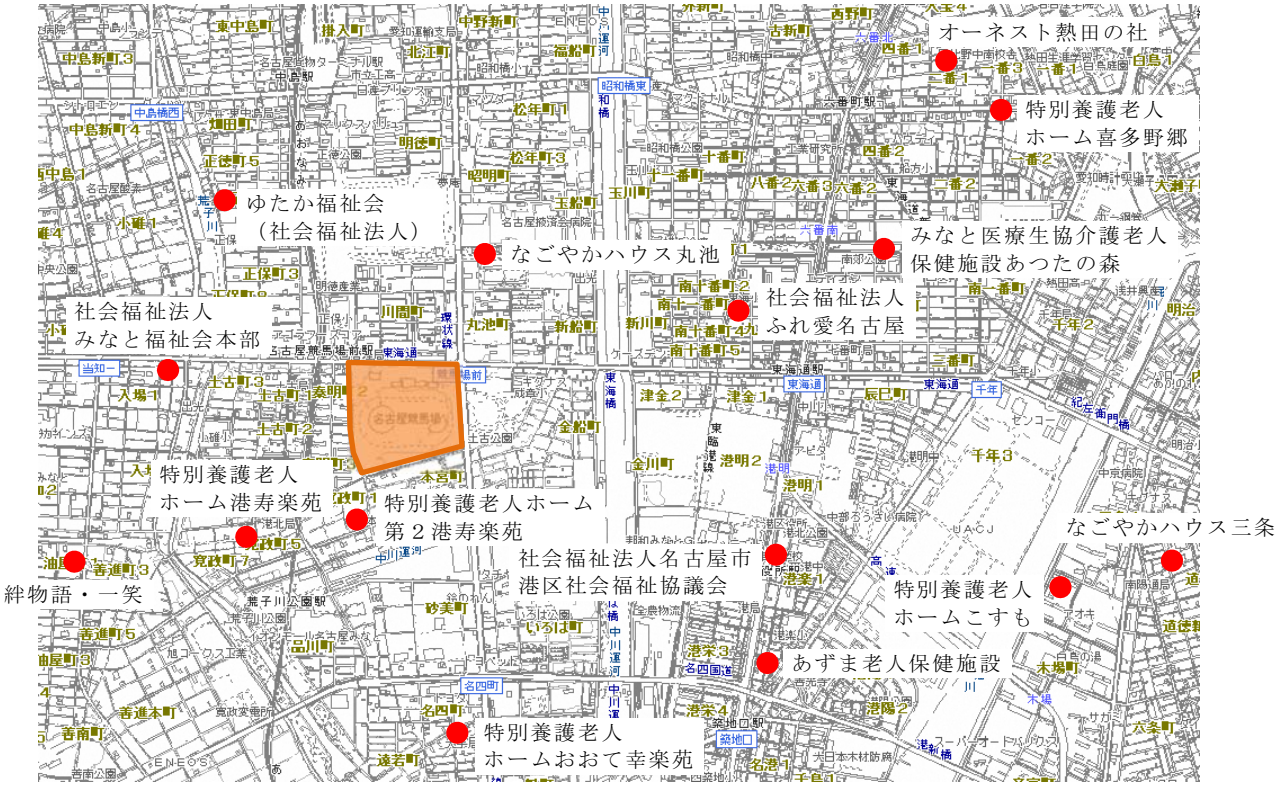

図 19　福祉施設分布図（民間）